

RISO製品の給紙を知る

給紙台から紙詰まり時の確認箇所

重送

1度に2~3枚給紙されてしまう事



標準の位置から時計方向に回す

空送

空転して1枚も給紙されない事



標準の位置から反時計方向に回す



レバーが標準になっているか確認

厚紙は画用紙や滑りやすい用紙の時に使用
ハガキも封筒もまずは標準で試してください

ここがズれていると印刷の左右位置がズれます



ダイヤル、レバーなど青い色に分けられている部分はお客様が触っても安全な所という意味です。リソグラフ・オルフィス同様です。



岡山本社
TEL086-273-6300
FAX086-273-1811
倉敷支店
TEL086-424-3400
FAX086-424-3407

原稿モードを変更してみよう

- ・標準
文字と写真をバランスよく再現したい場合に適しています。色のついた原稿にも適しています
- ・文字優先
文字の鮮明さを際立たせたい場合に適しています。コントラストがハッキリした写真を含む場合にも適しています
- ・写真優先
食品や人物のように階調の滑らかさを重視したい写真を含む場合に適しています
- ・下地カット
原稿の下地色を消去します。新聞紙をイメージすると分かりやすいですね。

印刷物の先端に余白はありますか？

印刷物の先端（出てくる時の先端）には5mm以上の余白が必要です。余白がないとドラムに巻付いたり、排出されなかったりと紙詰まりになります。

↓これで解決↓

予め原稿先端に余白をもたせる
又は原稿を天地ひっくり返してセットしてみてください



ワンポイントアドバイス

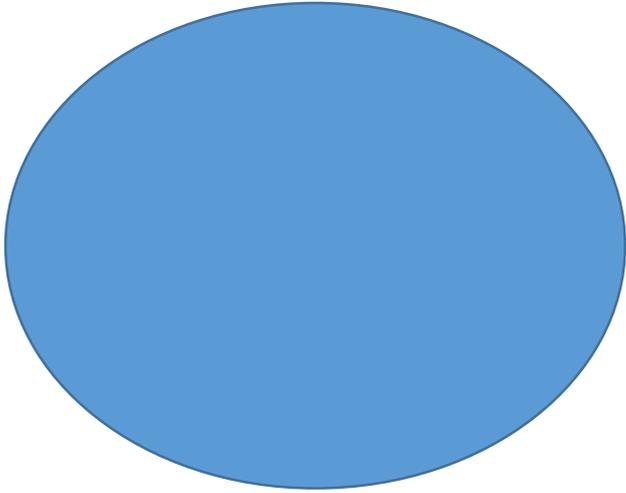
両面印刷のコツ

片面印刷を終えてから24時間乾かす（メーカー推奨）
そんな時間はない！！
兎に角、用紙を捌いてください。（印刷を終えた用紙はインクや静電気の関係で引っ付いています）
これでもかかってくらい捌いて、速度2でお試してください

社員紹介

今年、定年を迎える技術部員を紹介させていただきます。
長きに渡り活躍された事に心からの敬意とお祝いを申し上げます

本社技術部所属 岡本 俊明



趣味・特技

- ・今は音楽を聴く事
(民謡・フォークソング80/90年代)

これまでの振り返って

・至らぬ私が、いろんな人に支えられて40年。自分を応援・指導して下さった皆様に感謝感謝です。

お客様へ

・皆様のおかげで無事本年定年を迎えます。これまでのご厚情に心よりの感謝を申し上げます。

40年余りの勤務で多くのお客様に接する機会があり、大きく成長をさせていただきました。ご迷惑をお掛けする事も多々ありましたこととお詫び申し上げますと同時に、これからも山陽事務機への変わらぬご愛顧をお願いします。

もし街で見かけたら気軽に声をかけてください。

経歴と担当エリア

- ・1958年12月17日生 岡山県出身
- ・倉敷工業高校卒
- ・1981年入社 倉敷支店 技術部配属
- ・1999年本社技術部転勤

自分の性格

- ・自分勝手、周りに左右されない個性あるB型人間

[es]~Theme of es~

Ah 長いレールの上を歩む旅路だ
風に吹かれ バランスとりながら
Ah 答えなんてどこにも見当たらないけど
それでいいさ 流れるまま進もう

手にしたものを失う怖さに
縛られるくらいなら勲章などいら
ない

何が起っても変じゃないそんな
時代さ覚悟はできてる
よるこびに触れたくて明日へ
僕を走らせる「es」

作詞・作曲：桜井和寿
編曲：小林武史・Mr.Children
1995/5/10発売
1番抜粋

「ミスターチルドレン」の曲に「es~theme of es」がある。この曲が発売された平成7年は「阪神淡路大震災」「地下鉄サリン事件」という2つの大事件があった1年。暗い曲調ですが、人生色んな事があるが、何とか生きて行こうという解釈をしています。

このタイトルについて調べてみました。

精神医学者・精神分析家であるフロイトが提唱した心理学用語です。人間の人格構造(心的装置)には3つの領域があるという考えに辿り着きました。それが「es、自我(ego)、超自我(super-ego)」。自我とは自分自身に対する個人の意識・観念と辞書に出ています。「自分を自分として認識するようになる」というニュアンスでしょうか。自我をエゴという言葉に変えると「エゴイスト」など自己主張の強さを言葉の様に思いますが、エゴ自体に自己主張が強いという意味はなく自己を表す言葉であると考察出来ます。

超自我を辞書で引くと、良心の機能を営むもの。衝動を抑制し、道德的なものに目を向けさせるとあります。お腹が空いていても、お店に陳列されているお菓子を勝手に食べないのは、食べたいという衝動を抑制し、道德的な部分に意識があるからではないでしょうか。

ではesは、「本能的、衝動的欲求」。つまり生まれながらに備わっているもの、その真逆にあるのが超自我で、道德的・命令規範的な状態。簡単に解釈するとes本能、超自我=理性、この2つをコントロールする自我で理解できるだろうか。esが生まれながら備わった欲求に対し、超自我は社会で生きていく中で形成されていくもの。無意識から前意識そして有意識へと影響をあたえているのだと。

私たちは無意識下にある本能や衝動を道德的な心を通して意識するようです。無意識にあった本能が意識へ現れる事もあれば、自我が無意識に入り込むこともあるでしょう。私たちは無意識のうちに自分の感情を押さえつけてしまったり、押さえきれない衝動に駆られて行動する事もあるという事です。

社会は様々なルールによって成り立っています。全員がルールを無視して己の欲求のまま生きれば社会は崩壊するし、道德心なしで他社と共存もあり得ないでしょう。「超自我」は大切な心です。しかし、それがあまりにも大きすぎると、自らの本能を抑圧し心身ともにバランスを崩し疲弊します。全員が心のままに生きるには、今の社会構造では不完全なのかもしれません。だが「人間が本能のままに生きると、結果として生きづらくなるがゆえのルールであり、常識である」という事を認識し、バランスを取りながら本能と付き合っていくけたら昨今に聞くニュースに心を痛める事はないのではと考える日々です。

技術部 湯浅